

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義	
科 目 名		基本技術Ⅰ（安全）		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	10（1）時間(単位)
対 象 学 年		1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	202、203、実習室
担 当 教 員		藤澤眞由美	実務経験とその関連資格	看護師・・・ 総合病院病棟勤務、小児救急外来で勤務。 看護教員・・・ 5年一貫看護学校教員 ,看護短期大学			
《科目目標》							
1.対象に応じた看護実践できる力を養う。 2.援助の原理原則を基本に安全・安楽な援助実践を思考できる。 3.人間の健康に影響を及ぼす環境調整技術を安全に実践できる。							
《成績評価の方法と基準》							
【評価方法】終講試験（20%）、課題（提出・内容）・授業態度（15%）で総合的に評価する。 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満する。【担当配点】藤澤:35点							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術 メディカ出版 参考:看護技術プラクティス 学研 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 看護がみえる Vol.1 基礎看護技術 MEDIC MEDIA 看護学生のためのヒヤリハットに学ぶ看護技術 医学書院							
《授業外における学習方法》							
事前学習(教科書を読む・動画を視聴する)と授業で分からないことを調べ復習する。 課題レポートを提出する							
《履修に当たっての留意点》							
全ての看護技術の土台となる科目です。主体的に学習に取り組み知識・技術・態度の習得を目指しましょう。演習は事前学習を行って臨むこと。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 看護における安全の考え方と医療事故防止の取り組みを理解する 2. 感染の成立要件、標準予防策、感染経路別予防策の取り扱いを理解する 3. 手指衛生、個人防護用具の着脱を正しく理解できる		教科書	事前に指定されたテキストの個所を読み、わからない単語は調べておく	
		各コマにおける授業予定	P114～134 1) 看護と看護技術 2) 感染予防を推進する技術				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.医療安全とは何かを説明することができる 2.安全を脅かす要因とは何かを述べることができる 3.患者誤認・誤薬の発生要因と予防策を述べることができる 4.インシデント・アクシデントを報告する際の要点を述べることができる		教科書	事前に指定されたテキストの個所を読み、わからない単語は調べておく	
		各コマにおける授業予定	患者の安全・医療従事者の安全を守る技術				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1.感染予防の意義を理解し、手指衛生の重要性を認識し実行できる 2.正しい個人防護具の選択と着脱ができる 3.原理・原則に沿った基本的な感染予防行動ができる		教科書	事前に演習内容に関するテキストを読み、動画を視聴し学習をしておく	
		各コマにおける授業予定	P124～128 スタンダードプリコーション(手洗い、マスク着用、エプロン着脱)の実践 感染性廃棄物の取り扱い				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	外敵から身を守る技術が実践できる		教科書	事前に演習内容に関するテキストを読み、動画を視聴し学習をしておく	
		各コマにおける授業予定	必要な防護用具の着脱 P131～138 無菌操作、滅菌物の取り扱い、滅菌と消毒、感染予防のための組織と役割				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	外敵から身を守る技術が実践できる		教科書	事前に演習内容に関するテキストを読み、動画を視聴し学習をしておく	
		各コマにおける授業予定	P135～145 清潔・不潔操作、消毒、感染性廃棄物の取り扱いの実践				